

2018年度 決算説明会

2019年7月18日

 **佐鳥電機株式会社**

(証券コード：7420)

代表取締役社長兼CEO
佐鳥 浩之

目次

1.2018年度 決算概況

2.中期経営計画

3.2019年度 業績予想

1. 2018年度 決算概況

2018年度 決算概況（連結）

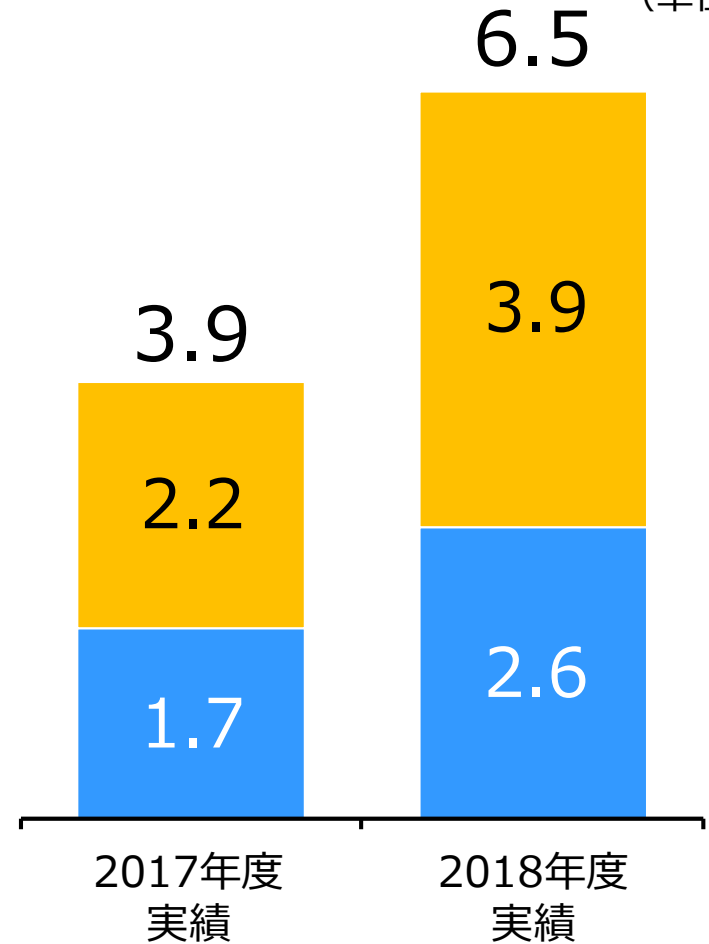
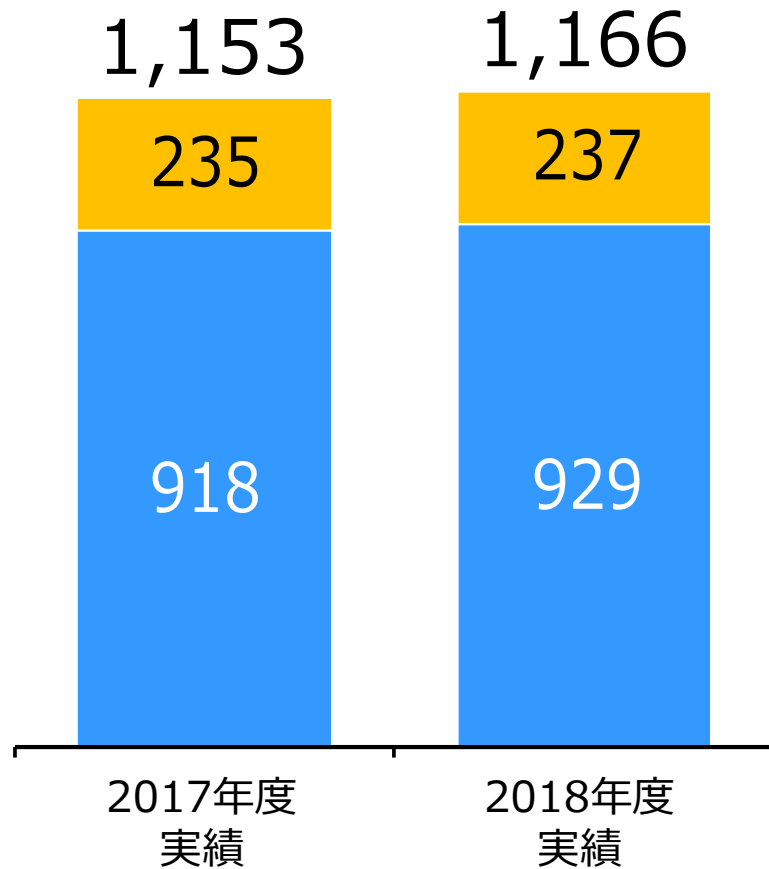
(単位：億円)	2017年度 実績	2018年度			
		当初予想	実績	前年度比	当初予想比
売上高	1,153	1,230	1,166	101%	95%
粗利率	8.4%	8.3%	8.7%	104%	105%
販管費	93.3	91.0	95.0	102%	104%
営業利益 (同率)	3.9 (0.3%)	11.0 (0.9%)	6.5 (0.6%)	165%	60%
経常利益	2.9	9.5	6.0	209%	64%
当期純利益	2.2	7.0	2.9	135%	42%
月平均為替レート (US\$/¥)	110.5円	105.0円	111.3円		

2018年度 セグメント別損益推移

売上高

セグメント利益

(単位：億円)



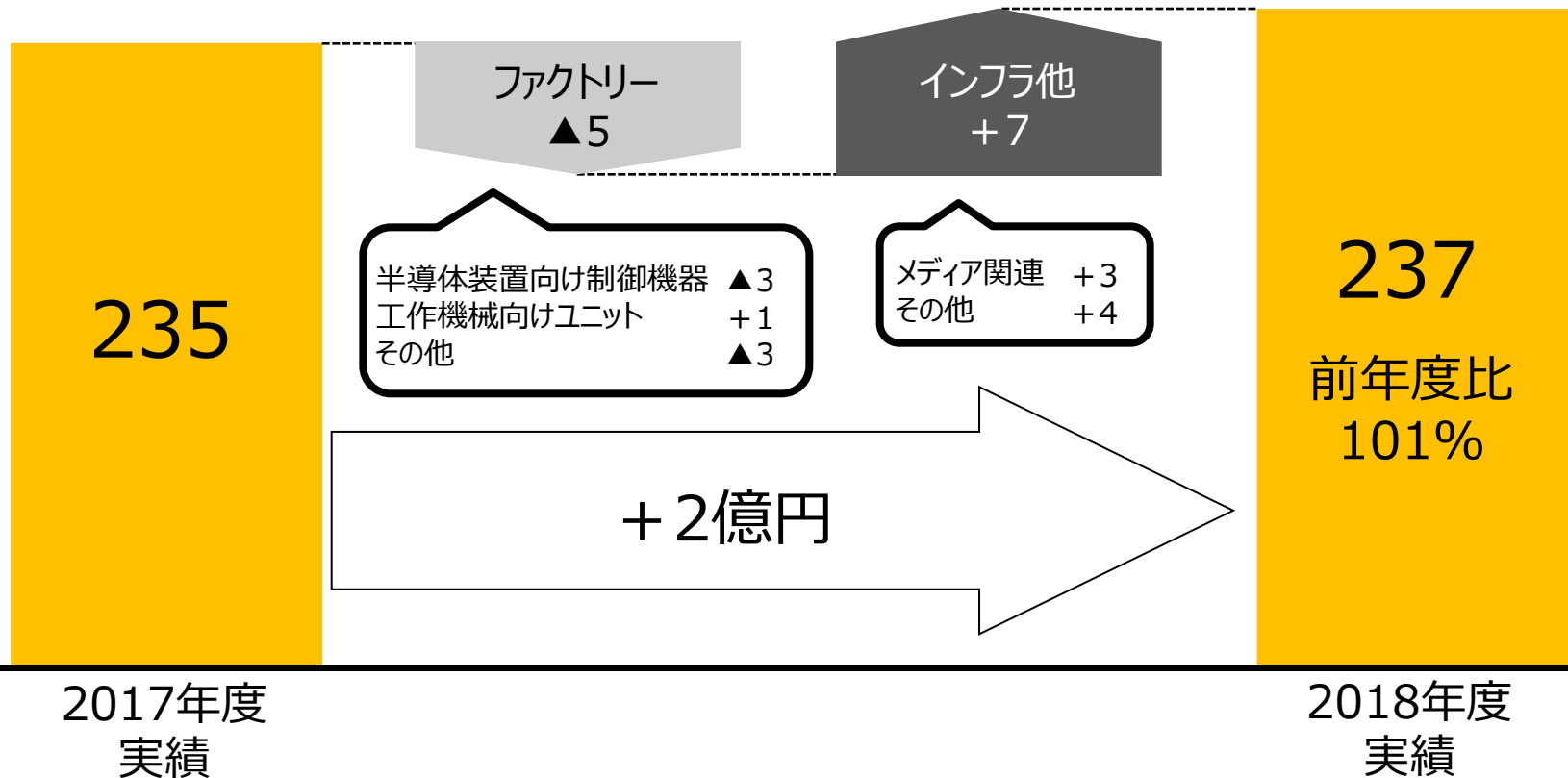
■ システムソリューション事業

■ デバイスソリューション事業

2018年度 セグメント別 売上高推移 (システム)

(単位：億円)

システムソリューション事業



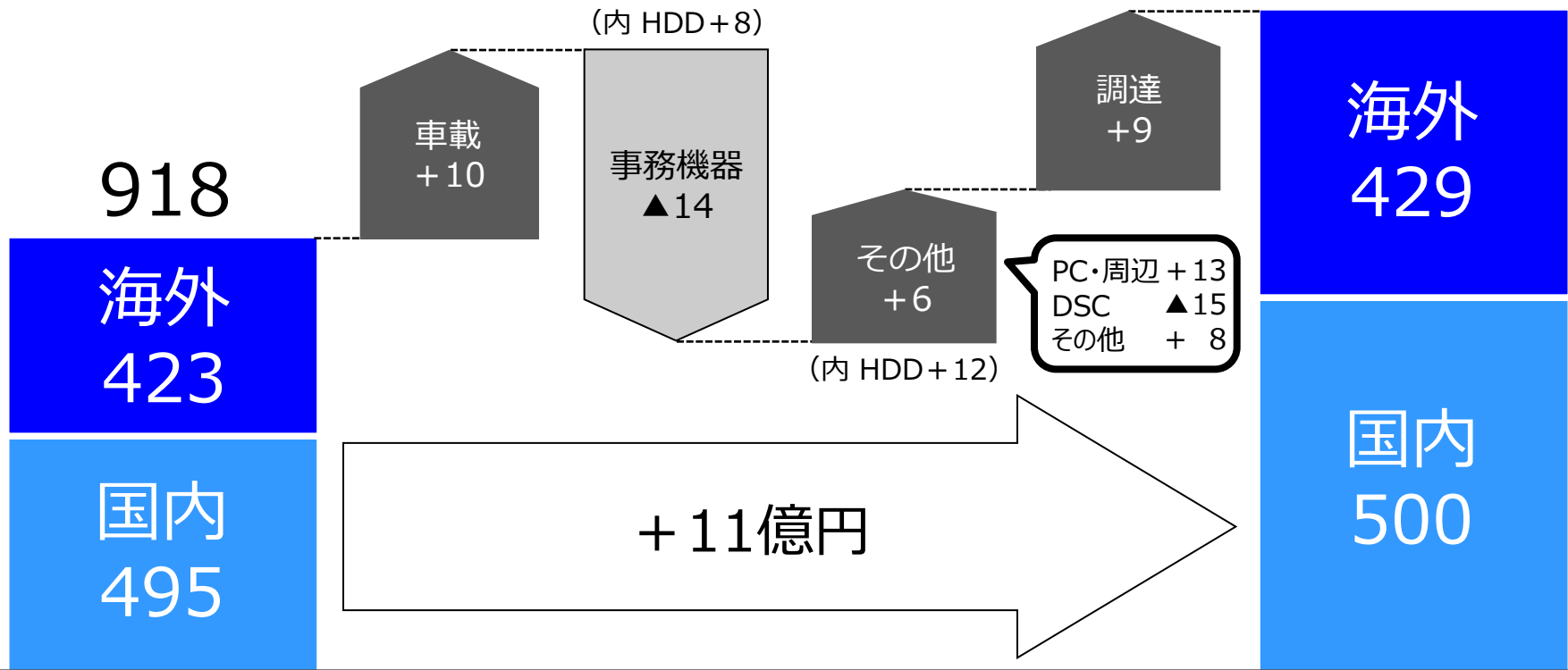
2018年度 セグメント別 売上高推移 (デバイス)

デバイスソリューション事業

(単位：億円)

929

前年度比
101%

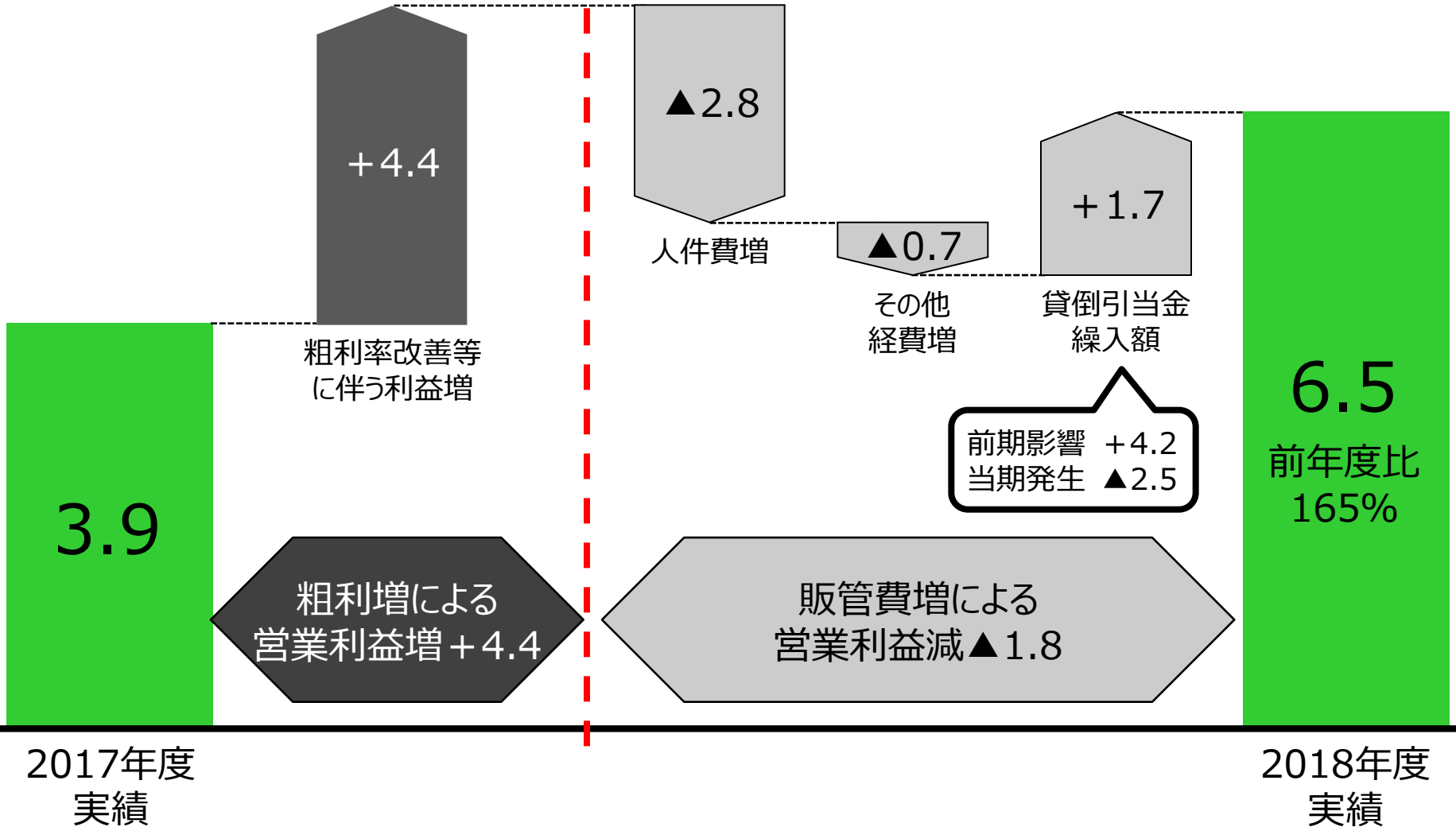


2017年度
実績

2018年度
実績

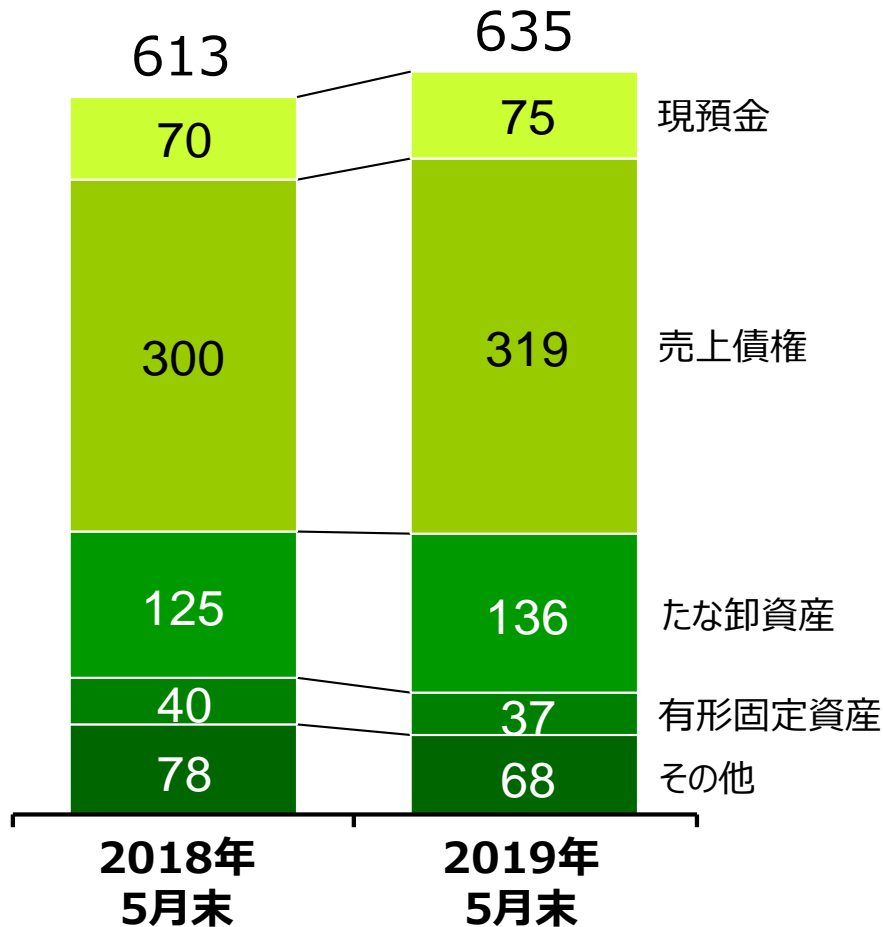
2018年度 営業利益変動主要因

(単位：億円)



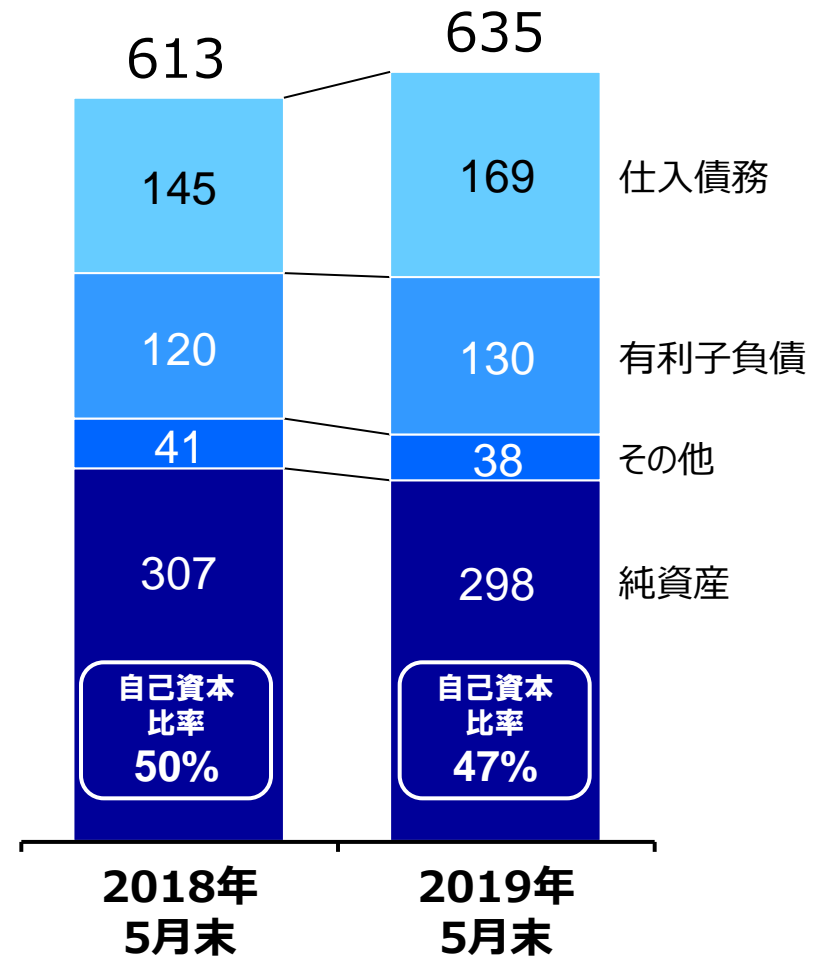
2018年度 B / S 概要

資産の部



負債・純資産の部

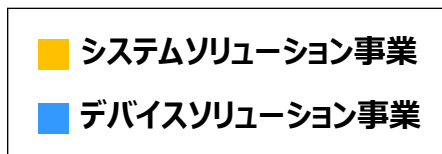
(単位：億円)



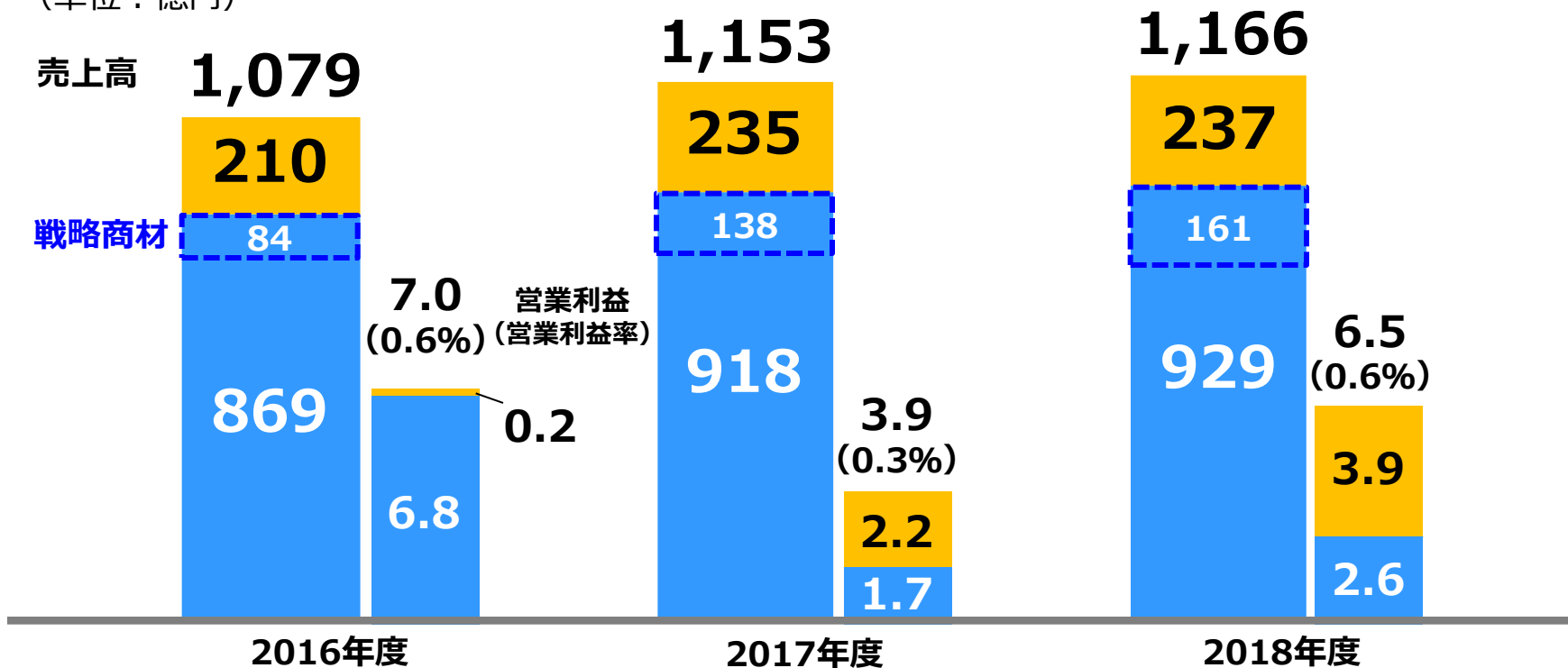
2. 中期経営計画

中期経営計画（2016年度～2018年度）総括

- 既存事業の成熟化により、トップラインは低伸長
- システムソリューション事業は着実に収益力向上
- デバイスソリューション事業は戦略商材（ストレージ・車載）が順調に拡大
- 自社製品及び、海外事業拡大に課題



(単位：億円)



会社経営の基本方針

持続的な 企業価値の向上

エレクトロニクスを通して
『安全』『安心』『快適』な社会の実現に貢献

重点市場

ファクトリー・モビリティ・インフラ・オフィス・ライフ

佐鳥グループ 技術商社

事業経営3路線

貿易商社 製造商社

開発
パートナー

製造
パートナー

中期経営計画2021（2019年度～2021年度）

前中期経営計画

『強固な事業基盤作り』

2016年度～2018年度

新中期経営計画（2019年度～2021年度）

『重点市場集中による
安定成長の実現』

企業価値向上

事業成長戦略推進

事業効率改善

資本効率の向上

事業ポートフォリオの再構築

システムソリューション

デバイスソリューション

海外ビジネス

自社製品

【システムソリューション事業】

機能価値活用による
「収益力向上」

【デバイスソリューション事業】

グローバル展開による
「グロス拡大」

定量的目標

2019年度

2021年度

売上高

1,260億円

1,500億円

営業利益

12.5億円 (1.0%)

24.0億円 (1.6%)

ROE

2.3%

5.0%以上

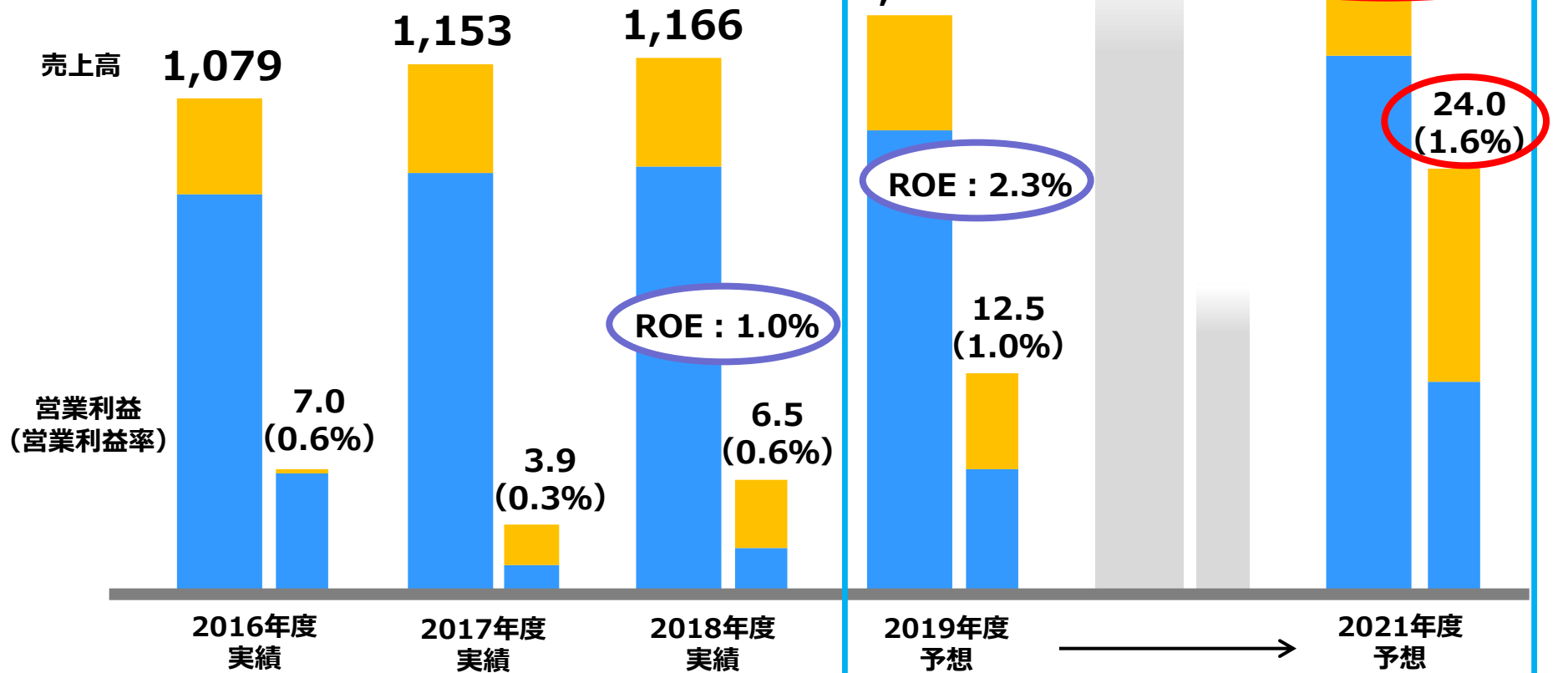
中期経営計画

2016年度～2018年度実績

中期経営計画2021 2019年度～2021年度

(単位：億円)

- システムソリューション事業
- デバイスソリューション事業



事業戦略

■ システムソリューション事業

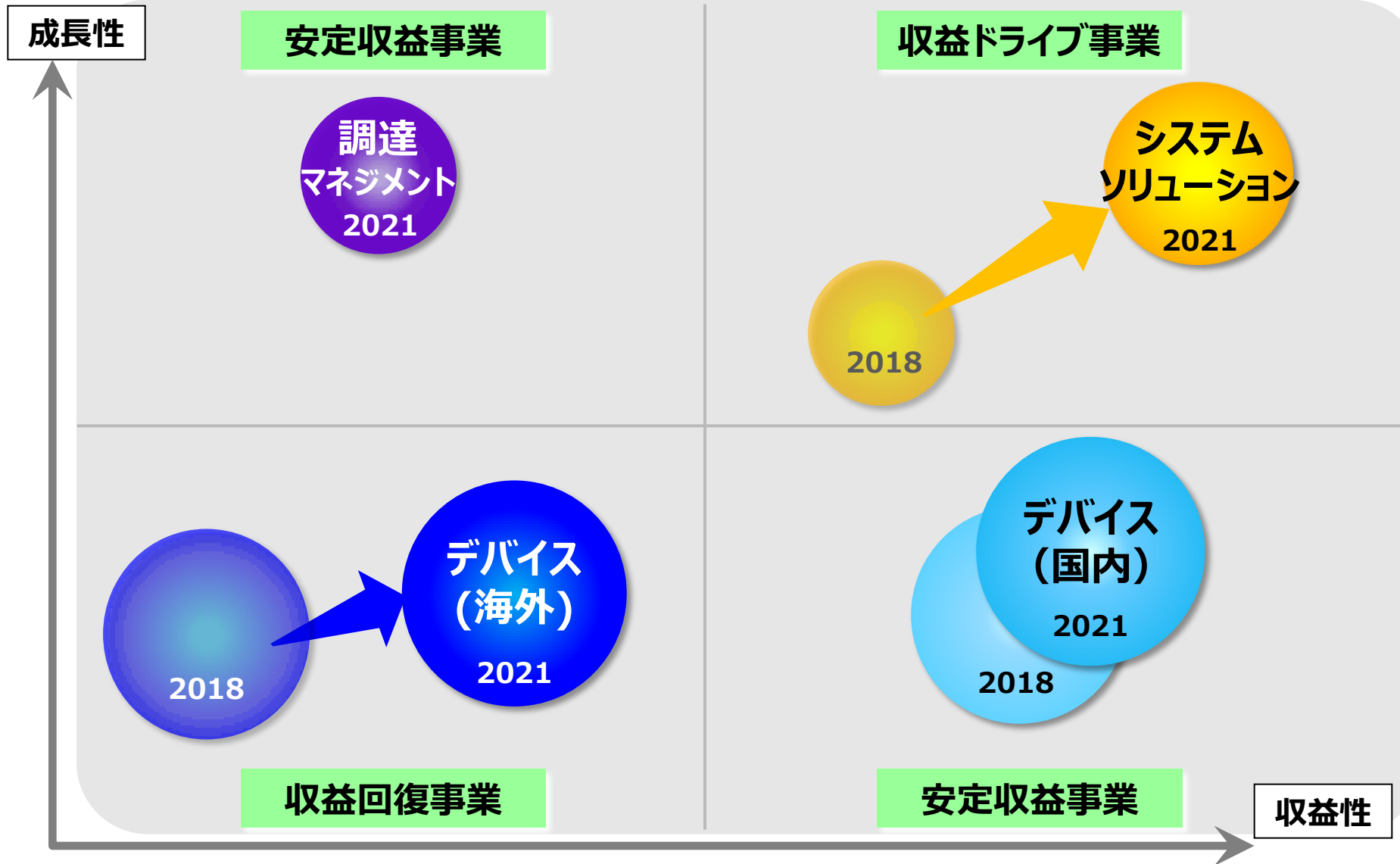
- ・成長分野へのリソース集中
⇒ファクトリー、モビリティ、メディカル/ヘルスケア
- ・自社製品ラインアップ拡充
⇒絶縁監視ソリューション、スマートメンテナンス、無線

事業効率の改善と経営資源の再配分

■ デバイスソリューション事業

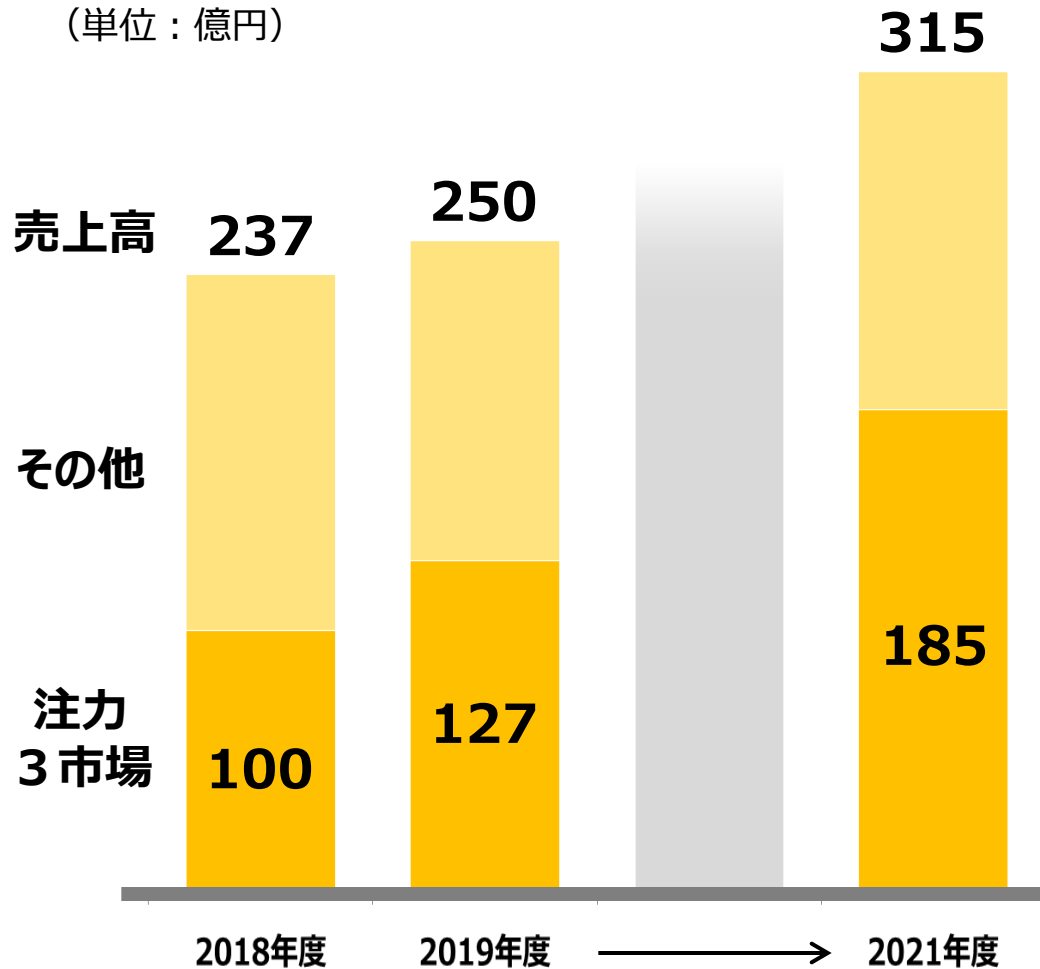
- ・コア事業の維持・拡大および新しいコア商材の拡充
- ・パートナーとのアライアンス強化による海外ビジネスの収益力改善
- ・調達マネジメントビジネスの本格立上げ

事業ポートフォリオ (2018年度→2021年度)



システムソリューション事業

(単位：億円)



注力3市場

『成長分野』へのリソース集中

- ファクトリー
- モビリティ
- メディカル/ヘルスケア

自社製品

■ センサ、無線、絶縁監視技術を核としたソリューションの提供

自社製品 8億円 14億円 17億円

デバイスソリューション事業

自社製品（スイッチ）

- 電動工具用スイッチの海外市場への本格展開開始

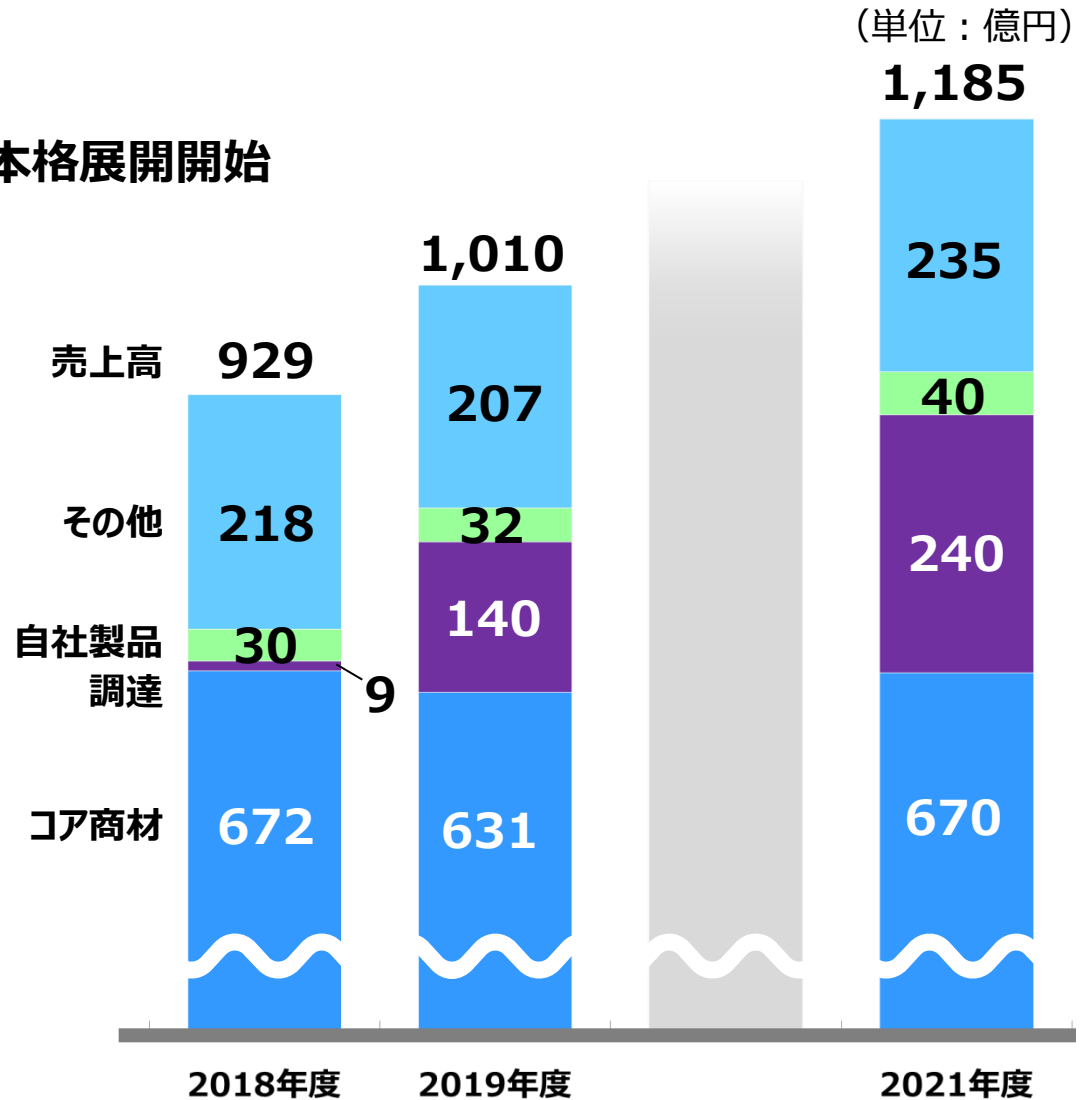
調達マネジメントビジネス

- 2019年度よりビジネス本格立上り

コア商材

- ルネサスエレクトロニクス
- NEC
- パナソニック
- トーキン
- 住友電工
- ウェスタンデジタル

仕入先連携強化によるベース確保



株主価値の向上

収益性の向上

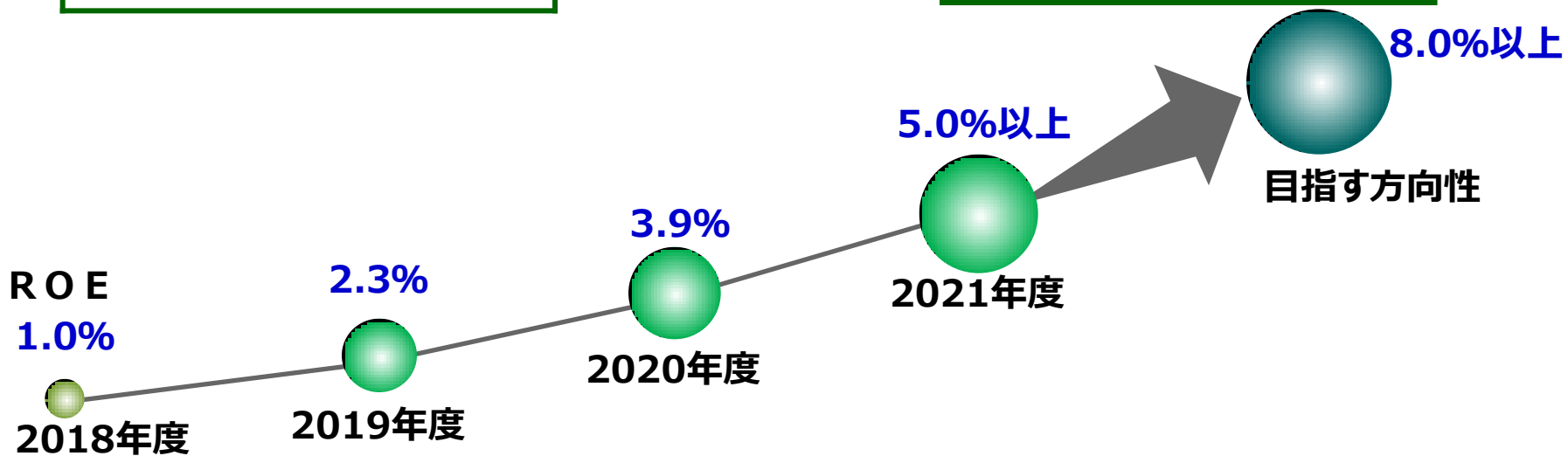
- ・「収益ドライブ事業」集中
- ・「安定収益事業」効率化

資産効率の向上

- ・資産の有効活用
- ・売掛債権の流動化拡大

株主還元

- ・安定的、継続的な配当
⇒配当性向 50%
- ・自己株式取得

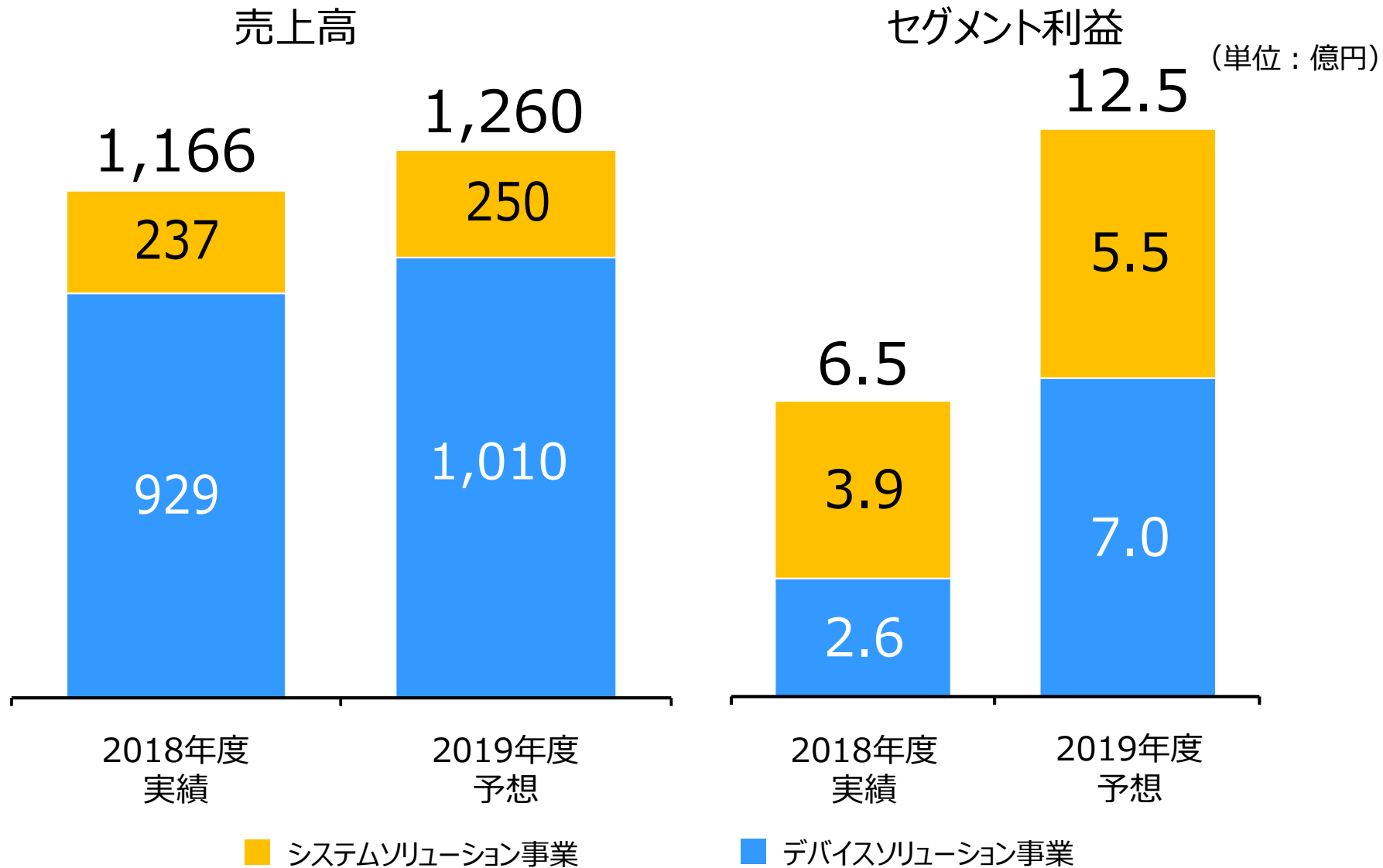


3. 2019年度 業績予想

2019年度 業績予想（連結）

(単位：億円)	2017年度 実績	2018年度		2019年度	
		実績	前年度比	予想	前年度比
売上高	1,153	1,166	101%	1,260	108%
粗利率	8.4%	8.7%	104%	8.5%	98%
販管費	93.3	95.0	102%	94.0	99%
営業利益 (同率)	3.9 (0.3%)	6.5 (0.6%)	165%	12.5 (1.0%)	190%
経常利益	2.9	6.0	209%	9.0	148%
当期純利益	2.2	2.9	135%	7.0	236%
月平均為替レート (US\$/¥)	110.5円	111.3円		105.0円	

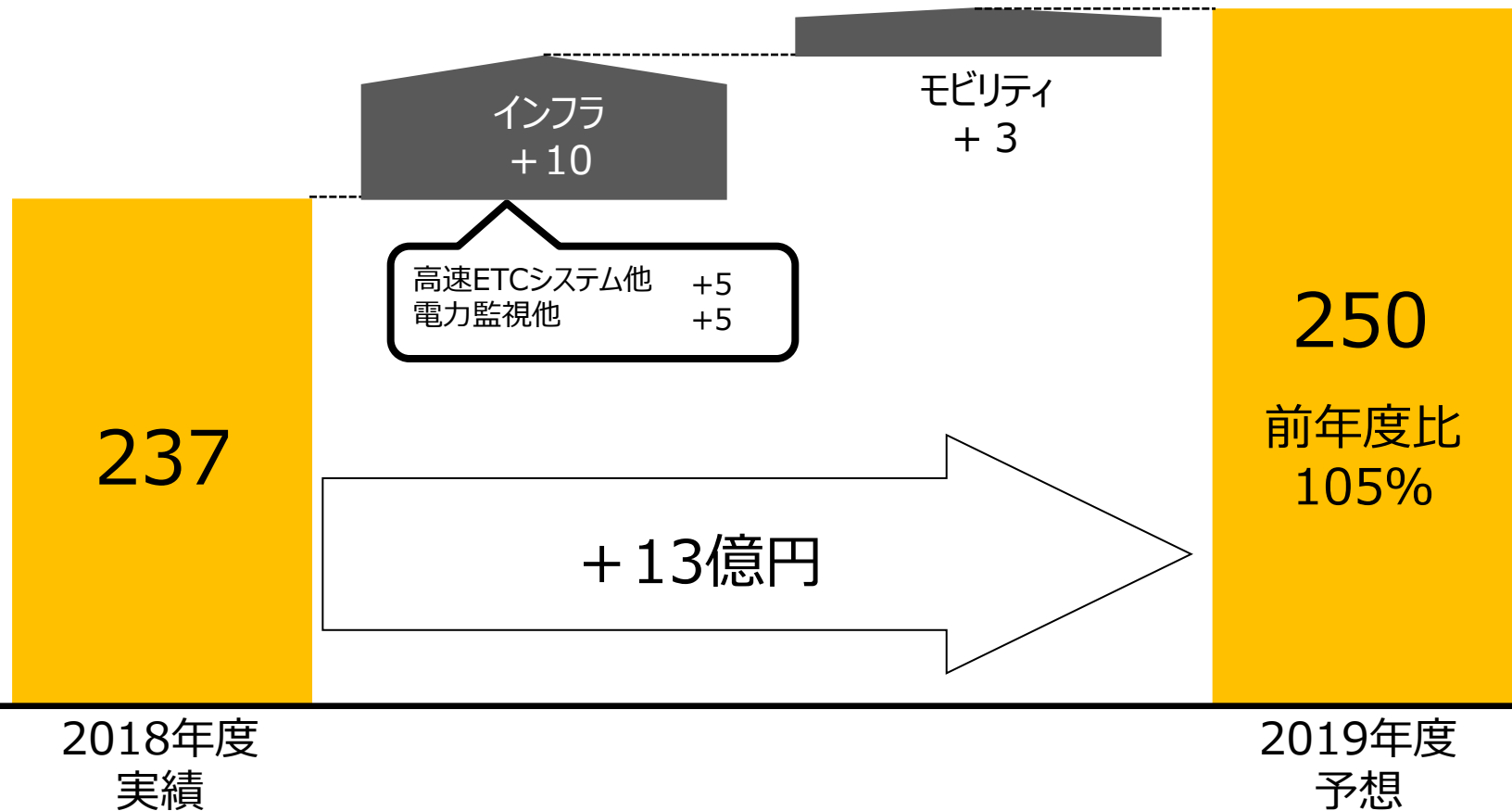
2019年度 セグメント別損益推移



2019年度 セグメント別 売上高推移 (システム)

システムソリューション事業

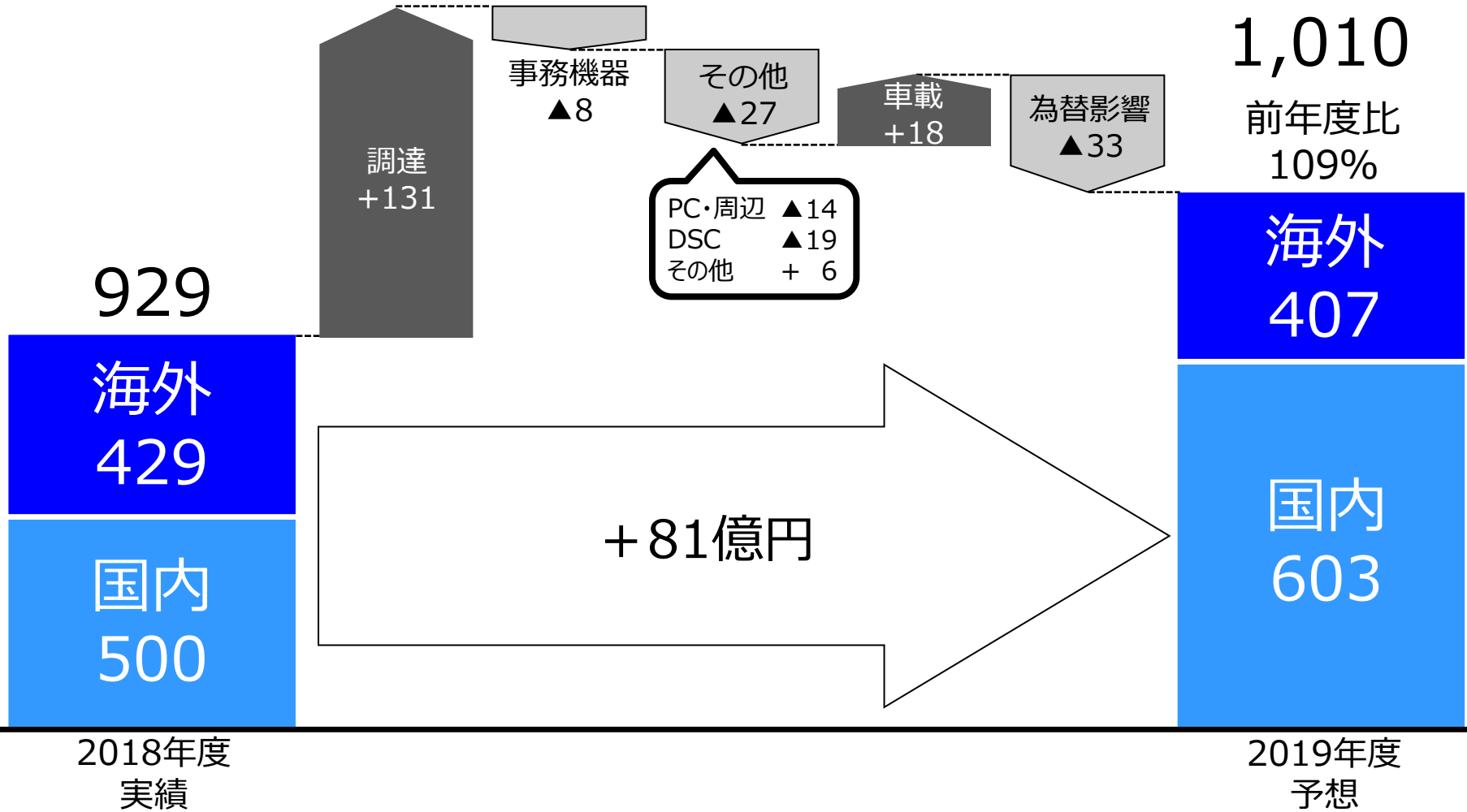
(単位：億円)



2019年度 セグメント別 売上高推移 (デバイス)

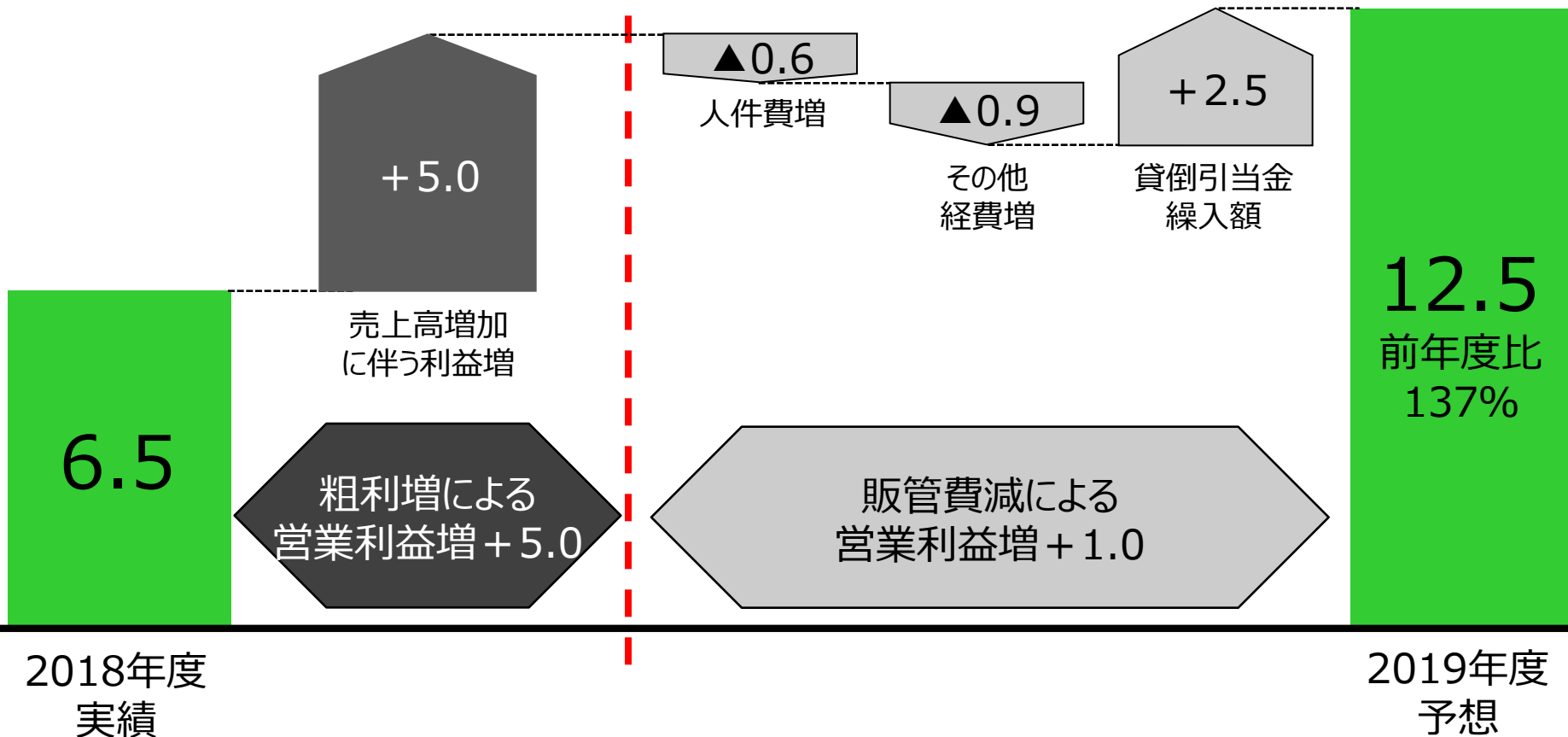
デバイスソリューション事業

(単位：億円)



2019年度 営業利益変動主要因

(単位：億円)



配当について

	2018年度 実績	2019年度 予想
中間	18円	18円
期末	20円	20円
年間	38円	38円
配当性向	211%	89%

資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、さまざまなリスクや不確定な要素が含まれております。従って実際の業績は予測と大きく異なることがあります。

これらのリスクや不確定要素には以下のようなものがあります。

- ・主要市場の経済情勢や消費動向
- ・為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動
- ・主要製品市場における需給関係の急激な変動
- ・技術革新、顧客ニーズの変化 等

【参考資料①】 主要得意先 売上高 上位20社

2017年度通期

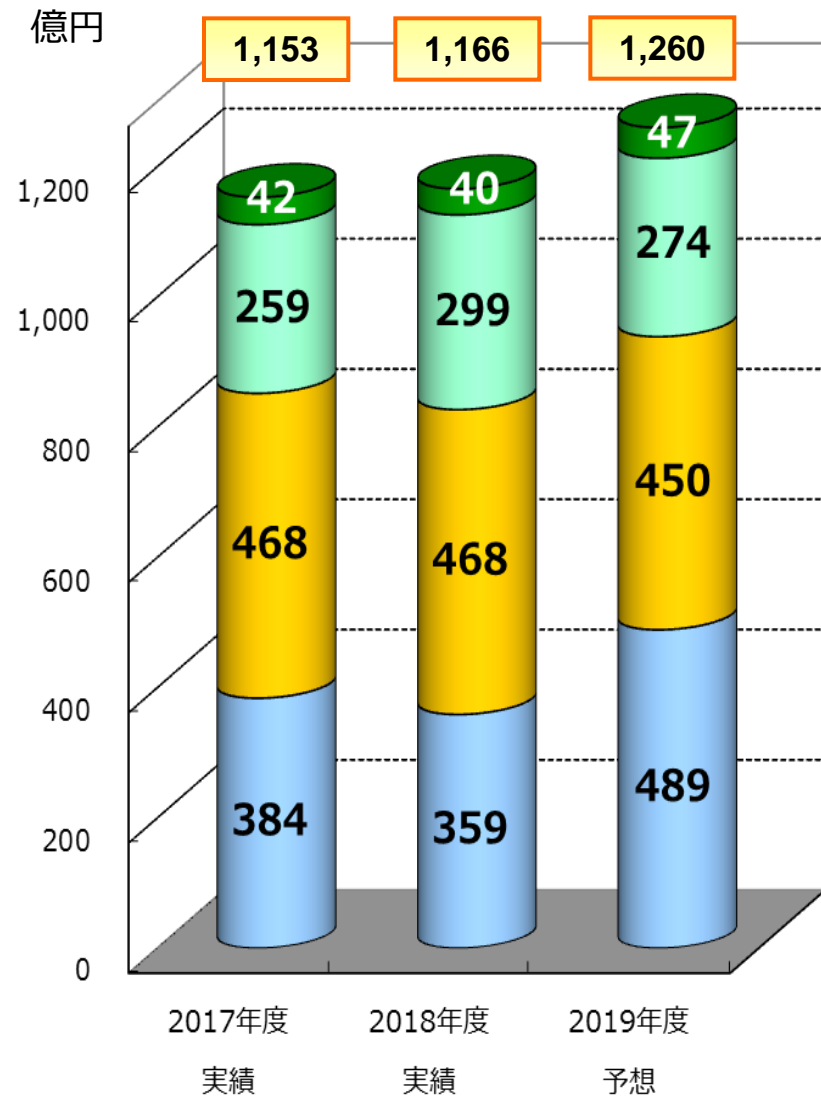
2018年度通期


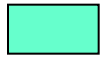


	上位10社	上位11~20社
顧客名 (順不同)	キャノングループ	シマノ
	NECグループ	三菱電機グループ
	パナソニックグループ	タムラ製作所
	リコーグループ	TOTO
	OKIグループ	日立グループ
	マキタ	コニカミノルタ
	ミネベアミツミグループ	デンソー
	荏原製作所	オリンパス
	HON HAI (台湾)	セコム
	QUANTA (台湾)	COMPAL (台湾)
売上高 構成比	上位10社累計 54%	上位20社累計 64%

	上位10社	上位11~20社
顧客名 (順不同)	キャノングループ	シマノ
	NECグループ	三菱電機グループ
	パナソニックグループ	タムラ製作所
	リコーグループ	TOTO
	OKIグループ	日立グループ
	マキタ	ミネベアミツミグループ
	デンソー	荏原製作所
	コニカミノルタ	オリンパス
	HON HAI (台湾)	INVENTEC (台湾)
	QUANTA (台湾)	COMPAL (台湾)
売上高 構成比	上位10社累計 52%	上位20社累計 60%

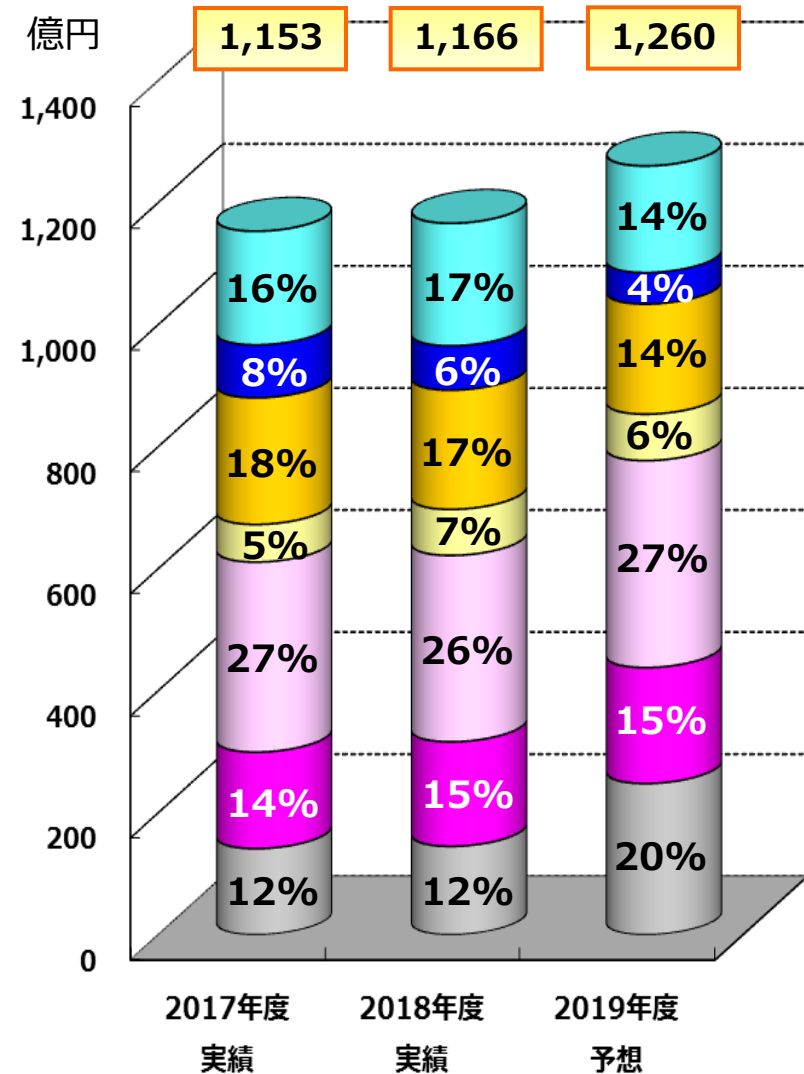
※ 顧客名の 青文字 は海外企業

【参考資料②】 品目別 売上高推移



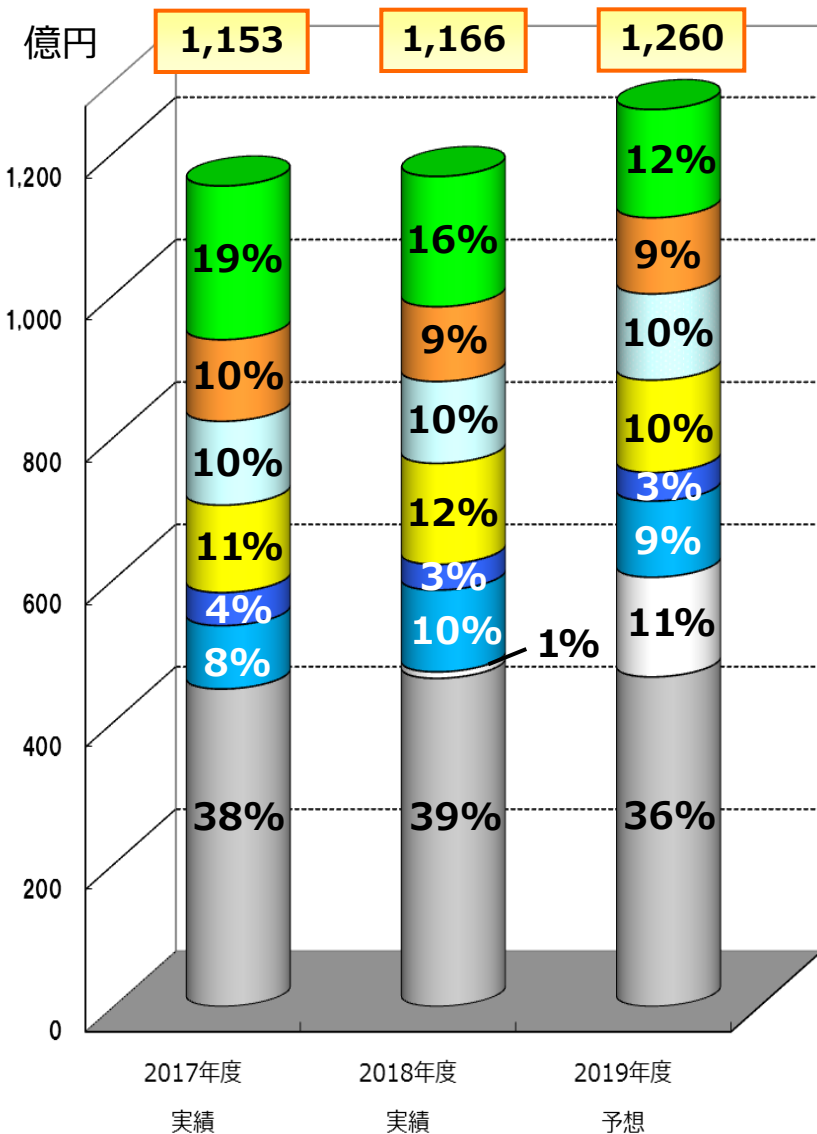
	品目	前年度 v s 今回予想	前年度比
	製品	【18実績】 電動工具用スイッチ減 【19予想】 電動工具用スイッチ増	95% (118%)
	電子機器	【18実績】 太陽光発電用パワコン増 複写機用HDD増 複写機用操作部ユニット減 【19予想】 複写機用HDD減 F A設備用HDD増	115% (92%)
	電子部品	【18実績】 P C用バッテリー減 P C用キャパシタ増 【19予想】 P C用バッテリー・キャパシタ減	100% (96%)
	半導体	【18実績】 複写機用メモリ減 車載情報端末用メモリ増 【19予想】 調達マネジメントビジネス増 車載情報端末用メモリ増	93% (136%)

【参考資料③】市場分野別 売上高構成率推移



市場分野	前年度 v s 今回予想	前年度比
PC・周辺機器 モバイル端末	【18実績】PC用キャパシタ増 【19予想】PC用バッテリー・キャパシタ減	108% (87%)
DSC	【18実績】DSC用マイコン・SoC減 【19予想】DSC用マイコン・SoC減	84% (71%)
事務機器	【18実績】複写機用操作部ユニット・メモリ減 複写機用HDD増 【19予想】プリンタ・複写機用SoC減	94% (92%)
セキュリティ & ライフ	【18実績】太陽光発電用パワコン増 【19予想】太陽光発電用パワコン増	123% (101%)
産業・社会 インフラ	【18実績】携帯基地局用光ケーブル減 半導体製造装置用制御機器減 【19予想】携帯基地局用光ケーブル増 FA設備用HDD増	98% (111%)
車載	【18実績】車載情報端末用メモリ増 【19予想】車載情報端末用メモリ増	108% (111%)
その他	【18実績】調達マネジメントビジネス増 【19予想】調達マネジメントビジネス増	103% (171%)

【参考資料④】仕入先別 売上高構成率推移



仕入先	前年度 v s 今回予想	前年度比
ルネサス エレクトロニクス	【18実績】 D S C用マイコン・S o C減 【19予想】 D S C用マイコン・S o C減	85% (83%)
NECグループ	【18実績】 複写機用操作部ユニット減 【19予想】 高速道路・サイネージ用 P Cサーバー増	92% (102%)
パナソニック グループ	【18実績】 P C用バッテリー減 太陽光発電用パワコン増 【19予想】 太陽光発電用パワコン増	98% (105%)
トーキン	【18実績】 P C用キャパシタ増 【19予想】 P C用キャパシタ減	116% (92%)
住友電工 グループ	【18実績】 携帯基地局用光ケーブル減 【19予想】 携帯基地局用光ケーブル増	78% (108%)
ウエスタンデジタル グループ	【18実績】 車載情報端末用メモリ増 複写機用H D D増 【19予想】 複写機用H D D減	130% (93%)
調達ビジネス	【18実績】 調達マネジメントビジネス増 【19予想】 調達マネジメントビジネス増	—
その他	【18実績】 複写機用操作部メモリ減 【19予想】 D S C用メモリ増	103% (100%)